

## ひらかたエコチェックDAYを実施



## ストップ ザ 温暖化への大きな一歩に

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。さて、昨年理事長を拝命し、はや半年が過ぎました。この間、会員の皆さまをはじめ、ボランティアの方々やスタッフなど、多くの方に支えられ活動に取り組んで参りました。

今年度、特に力を入れて取り組んでいる“地球温暖化対策事業”については、市民、事業者、行政が、まさに一体となり協働して取り組むことができていると感じております。

その地球温暖化対策事業の具体的取り組みの第2弾「ストップ ザ 温暖化 ひらかたエコチェックDAY」では、地域コミュニティや市内学校園、事業所、各種団体、店舗等々のご協力を頂き、総数5万枚のシートを配布する事ができました。また、ホームページや携帯サイトからもたくさんの方々にアクセスを頂きました。結果、12月25日の応募締切りを前に18日現在ですでに1000通を超える提出があり、目下総力を挙げて集計を行っているところです。取り組み結果は、2月6日の「ひらかたエコフォーラム2010」(2ページ関連記事)で発表します。

それぞれのはがきには、多くの方が感想や工夫などを一筆添えられており、エコチェックに取り組まれた方たちの意識の高さと熱意が感じられました。今回のエコチェックDAYの取り組みが、地球温暖化対策を進める次への大きな一歩になることを期待したいと思います。

(ひらかた環境ネットワーク会議 理事長 丸井晶子)

### パネル展示や 温暖化を考える分科会なども



2月6日(土)、「ひらかたエコフォーラム2010」をメセナひらかた会館(枚方市新町)で開催します。今年で4回目となる「ひらかたエコフォーラム」は、市内で取り組まれている様々な環境活動について理解し、地域と連携しながら、市民・事業者・行政の三者で地球温暖化を防止していくことで問題意識を共有化し、環境に負荷をかけないライフスタイルとはどういうものかについて考えるきっかけを提供することを目的としています。

環境保全に取り組む市内学校園及び事業者、市民団体を表彰する「環境表彰」をはじめ、受賞団体の取り組み紹介や、「触れる地球」ワークショップ、地球温暖化を考える分科会「ごみから温暖化を考えよう」「公共交通からESD(持続可能な開発のための教育)を始めよう」、環境団体・事業者のパネル

展示などを開催します。

「触れる地球」は、洞爺湖サミットでも展示された生きた地球を体感できるデジタル地球儀です。

「触れる地球」ワークショップでは、この地球儀を使用して2000年前から約100年後までの地球温暖化のシミュレーションを見ることができます。また、1995年からマグニチュード3以上の地震記録があり、地震が起きた場所が帯状に現れ、地形のプレートの様子がわかります。さらにスマトラ沖地震の津波のシミュレーションでは、津波の広がる様子を見ることができます。

ひらかた環境ネットワーク会議では、この「触れる地球」ワークショップを通して、環境問題を身近に感じ、個人レベルでも何かできないかと考えるきっかけになってほしいと願っています。

※当日のスケジュール等の詳細は同送のチラシにてご確認ください。

※「環境ひらかた」N023秋号の3ページより、イベント名と開催場所が変更となっております。ご了承ください。

# ひらかた エコチェックDAY

# みんなの力で大きく広がったエコチェック!!

「エコチェックDAY」の街頭PR(KI-CATが取材)



## たくさんのご参加・ご協力ありがとうございました

温暖化対策行動を身近なところから始めようと思った「ひらかたエコチェックDAY」。夏から準備を始め、5回に及ぶPR活動を経て、12月13日当日にはくらわんか五六市、枚方市駅、樟葉駅の3か所でシート配布と参加の呼びかけを行いました。市民、事業者、行政協働でのこのような取り組みは関西では初めてでしたが、多くの方の協力を得て、

PR活動を重ねるごとに、町なかの人の声から確実に広がっていると実感できました。市の広報誌をはじめ、新聞3社、テレビ、ラジオなどのメディアにも取り上げられ、枚方市内に止まらない温暖化対策の啓発ができたのではないかと思います。

身近な温暖化対策を呼び掛けたエコチェックDAY、最終的にこの呼びかけでどのくらいのCO<sub>2</sub>を削減できたのでしょうか。集計中の私たちもドキドキです。結果は「ひらかたエコフォーラム2010」にて、乞うご期待!



↑エコチェックシート

### ◆ご協力いただいた団体一覧

【共催】枚方市、枚方市地球温暖化対策協議会

【後援】枚方市教育委員会

【協賛団体】(株)江崎グリコ、(株)学運堂書店、北村みそ本家、呼人堂、ひらかたくらわんか五六市、(株)サンエース、農園 杉・五兵衛、ダスキン天野川支店、森林ボランティア竹取物語の会、(株)富士美術、(一般社団法人)ホワイトネット未来号、(株)ホワイトマックス

【協力団体】

<枚方市地球温暖化対策協議会 会員団体>安積建設(株)、イズミヤ(株) 枚方店、大阪ガス(株)、大阪工業大学枚方キャンパス、大阪国際大学、恩地食品(株)、(株)エーアイサービス、(株)大阪ミツカン 大阪工場、(株)小川鉄工、(株)くらこん、(株)ケイ・キャット、(株)京阪流通システムズ (KUZUHA MALL)、(株)京阪レジャーサービス、(株)小松製作所 大阪工場、(株)坂本設計技術開発研究所、(株)サンエスマーモーターズ、(株)D.ダイワ、(株)ビオルネ、(株)ボールミッシュ、(株)福井製作所、(株)ヤマジ、関西医科大学附属枚方病院、関西電力(株) 枚方営業所、北大阪商工会議所、京セラミタ(株) 枚方工場、京阪電気鉄道(株)、京阪バス(株)、三晶(株) 中央研究所、サンレー冷熱(株)、生活協同組合おおさかパルコープ、誠信建設工業(株)、高島建設(株)、司電機産業(株)、トキハ産業(株)、日可テクノ(株)、日本珪砂(株)、日本電音(株)、ネットトヨタ新大阪(株)、パナホーム(株) 大阪支社 大阪営業部、枚方信用金庫、保証運輸(株)、ホソカワミクロン(株)、道廣裕子税理士事務所、理研ビタミン(株)大阪工場

<大学>関西医科大学大牧野キャンパス、摂南大枚方キャンパス

<高校>府立枚方なぎさ高

<中学>樟葉中、杉中、第一中、第二中、第三中、津田中、長尾中、中宮中、招堤中、山田中、渚西中

<小学校>伊加賀小、磯島小、香里小、香陽小、川越小、樟葉北小、樟葉小、樟葉西小、樟葉南小、交北小、桜丘小、蹉跎小、蹉跎西小、蹉跎東小、菅原小、菅原東小、田口山小、津田南小、殿山第一小、殿山第二小、中宮北、中宮小、西牧野小、枚方第二小、平野小、船橋小、牧野小、招堤小、明倫小、山田小、山田東小

<幼稚園>香里幼、樟葉南幼、樟葉幼、桜丘幼、蹉跎西幼、蹉跎幼、高陵幼、田口山幼、津田幼、中振敬愛幼、光の峰幼、枚方幼、明善幼

<保育園>青桐保育園、明善保育園

<地域>香里校区コミュニティ、くずはセンチュリータウン住民の会、樟葉南校区コミュニティ、菅原東校区コミュニティ、西船橋自治会、東香里校区コミュニティ、枚方市田村住宅「たむらゆうゆう会」

<店舗>アイアイ書店、A New Sprout、おかしドーム、御菓子司とくや 星丘店、カフェ ぱどうしゃ、漢方一遍舎薬局、喫茶ホーム21、くらわんかアートギャラリー、クリーニング アット!、心根、コーヒーショップめとろ、古民家アンティークギャラリーなつめ、dikdik、3代目たくちゃん 星ヶ丘駅店、通行止、帝国社、時遊人、中野酒店、野村呼文堂、barber-shop prego、八兵衛、ばらんす亭、ひらかた仙亭、フォトショップ ポイント、福屋 星丘店、ヘアサロン オオウエ、vent fresco、松本スポーツ、Mani café、MogaJogaDining 枚方宿、洋菓子のバーゼル、リサイクルブティック里、理容 ツインカム、ルボンデミディ

<その他>天の川を清流にする会、彩、枚方いきもの調査会、エコ手づくりの会 楽楽ひろば、エコレンジャー、エフエムひらかた、大阪狭山市婦人会、かじや行政書士事務所、(株)コミュニティスタイル、関西大学 校友会 枚方支部、近畿大阪銀行 枚方支店、共英製鋼(株) 枚方事業所 枚方工場、グローバルサポーター、(財)自然農法国際研究開発センター 関西地区普及所、(財)枚方市公園緑化協会、大人のための算数教室、自然環境センター、(社)枚方青年会議所、住友信託銀行 枚方支店、全労済大阪府本部共済、尊延寺の自然を守る会、(特活)エコスマイルひらかた、(特活)日本ウミガメ協議会、(特活)枚方エコサイクル、(特活)ひらかた市民活動支援センター、(特活)ひらかた地域通貨ひらりの会、(特活)まどり、長尾まち美化委員会、NACS-J自然観察指導員大阪連絡会、枚方・LRT推進会、ひらかた星垂の会、枚方・食品公害と健康を考える会、枚方しぜんハイキング、枚方観光ボランティアガイドの会、枚方市消費者協会、枚方市民菊人形の会、りそな銀行 枚方支店

団体、個人、多くの方のご協力・ご支援により「ひらかたエコチェックDAY」が行えました。心からお礼申し上げます。

枚方なぎさ高校で環境出前事業を実施

環境の授業を通して、人間的に豊かになって欲しい

環境教育サポート部会では、12月17日(木)、大阪府立枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施しました。今年で5回目となるこの環境出前授業は、多くの会員に協力を頂き、1年生(7クラス)全員を対象に、「企業の環境への取り組み」「淀川と環境」「廃棄物って、なあに？」など14のテーマで実施しました。

→ 出前授業風景



環境教育サポート部会では、府立磯島高校(現 枚方なぎさ高校)が平成15年に大阪府のエコハイスクールとして認定されたのをきっかけに、すでに「高校版EMS(環境マネジメントシステム)」を導入していた長崎県の国見高校の視察に同行。その後、「磯島・枚方なぎさ高校版EMS」の構築に携わり、毎年の審査・評価も行っています。そして、平成16年より同校の地域連帯環境学習の一環として、この出前授業をスタートさせました。

熱心な生徒を見ているとやりがいを感じる

今回の出前授業の取りまとめを担当した環境教育サポート部会の小柳佳弘さん(写真中央)は「出前授業は14講義もあり、講師も多く、連絡調整など苦労も多かったですが、生徒が熱心に聞いてくれるので、やりがいがありました。今後は、事業者や地域の協力を得てもっと充実させていきたい」と話しています。



今回「淀川と環境」に関する講座を受けた生徒の一人は「もっと自然を大切にして、エコをして淀川だけでなく地球をキレイにしていきたい」と話しています。

枚方なぎさ高校の環境教育推進委員長を務める濱谷哲次先生は「環境の授業を通して、人間的に豊かになってほしい。生徒の環境問題への関心が高まりつつあり、環境問題を卒業後の進路として選択する生徒も出てきた」と話し、環境ネットワーク会議との連携の成果を実感されています。

◆平成21年度 第3回理事会の報告◆

平成21年度第3回理事会を、10月9日(金)に開催しました。理事総数15名中15名(委任状出席含む)が出席、鍛冶谷理事の成立宣言により開会されました。

4月～9月(上半期)の予算執行状況が事務局から報告された後、丸井晶子理事長を議長に議事に移りました。はじめに「平成21年度事業計画(追加案)及び収支予算(変更案)承認の件」の動議が出され、動議を議案として審議することは可決されましたが、審議の結果、議案は否決となりました。

# 平成21年度 ひらかた環境くらわんか塾が閉講しました

8月22日から開講していた「ひらかた環境くらわんか塾」講座が、11月28日に閉講し、17名の受講生が修了しました。

この講座の目的は、“学校版環境マネジメントシステム「S-EMS」による環境教育活動”をサポートすることができる「環境教育サポーター」を育成することです。

修了生の坂本美千代さんは「環境問題についてあいまいな知識しか持っていなかったが、今回の講座は大変分かりやすく、内容の濃いもので良く理解できた。枚方市の取り組みは、他の自治体と比べて進んでいるように感じられ、市民としても頼もしく感じた。私もこれからしっかり環境について取り組んでいきたい」と話していました。



← 第3回の講義の様子

## 修了生のその後

平成19年度の「ひらかた環境くらわんか塾」への受講をきっかけに、環境教育サポート部会に入り、S-EMS支援グループ担当として、また、ひらかた環境ネットワーク会議の運営委員としても活躍中の岡尾秀治さん（写真下）にお話を聞きました。

学校訪問を通して、

子どもたちの環境意識の高まりを実感



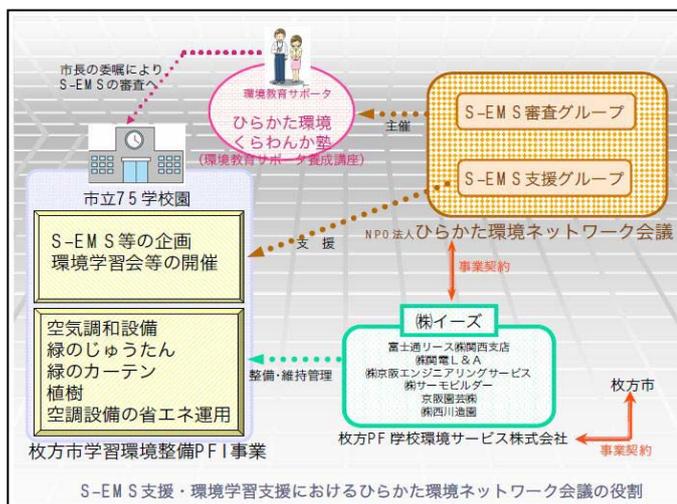
仕事を引退後、農業を使用している現在の食品や環境に不安を感じ、子どもたちの未来のために何かできないかこの塾を受講しました。

修了後は、環境教育サポーターの一員として、環境学習支援事業の一環で枚方市立の学校園を訪問し、緑のじゅうたんや緑のカーテンを含めた環境教育を支援しています。今後、3年をかけて75校園すべてをまわる予定です。

学校訪問をしていて感じることは「電気をこまめに消す」など、S-EMSを通して子どもたちや先生の環境についての意識や姿勢が変わってきたということです。

環境について、しっかりした考えを持つには、子どもの頃から意識付けが必要です。皆さんも、子どもたちの未来のために、環境教育サポーターになって、一緒に活動しましょう。

## 枚方市から環境学習支援事業を受託し 市立学校園S-EMSの審査・アドバイスを実施



環境保全都市を目指す枚方市では、学校園でエアコン設置する際の環境負荷軽減策として、緑のカーテンや植樹など「枚方市学習環境整備PFI事業」を行っています。

ひらかた環境ネットワーク会議は、この環境学習支援事業を受託し、市立75校園のS-EMSの審査・アドバイスをするなど、枚方市と協働で市域のCO2削減に力を入れています（上図参照）。

# バス!のってスタンプラリー♪を行いました

## ～クイズで「ひらかた」大発見!～



このイベントは、環境にやさしい公共交通の利用促進を目的に、毎回さまざまなテーマを設け、楽しみながら枚方の魅力を改めて発見してもらおうと平成18年から開催し、8回目を迎えました。

今回は10月17日(土)に、“クイズで「ひらかた」大発見!”をテーマに、参加者は枚方バース

デーバスタウンマップと、「クイズシート」を持って、枚方の名所(ポイント)を路線バスでめぐりクイズに挑戦して頂きました。当日は、雨が降ったり止んだり天候が不安定だったにもかかわらず、142名の方が参加されました。

午前9時より岡東中央公園にて受付開始し、参加者がサイコロを振って最初の行き先(▼百済寺跡公園、▼山田池公園、▼水面廻廊、▼旧田中家鋳物民俗資料館、▼市民の森)を決め、竹内脩市長の挨拶、ゲームルールの説明が行なわれた後、10時頃からゲームがスタートしました。

参加者は各ポイント5か所以上を回って岡東公園に戻り、答え合わせをして正解数に応じて、ガラガラくじを回し、景品を手にしていました。

アンケート結果では、「面白かったですか」の問いに、97%の人が“面白かった”、また「これからもっと公共交通に乗ってみようと思いましたが」の問いに、“思った”“とても思った”を合わせて、93%になりました。

また参加者からは、「枚方に住んでいても知らなかった事が多かった」「歴史的な建造物が見られて良かった」「雨でもバス移動なので、動く事ができた」「他の参加者との交流があった」「バスの運転数も多く、枚方市内どこにでも行ける事が分かった。今後はバスを利用したい」などの声が寄せられました。

このイベントを機に、自動車利用を見直し、公共交通機関の良さと、枚方の良さを改めて感じて頂いた事と思います。



## 「ひらかたNPOフェスタ」や「ごみ減量フェア」でエコチェックDAYをPR

→市長も自転車発電に挑戦



ひらかた環境ネットワーク会議は、10月4日に「ひらかたNPOフェスタ2009」、11月8日に「ごみ減量フェア」、11月15日に「天の川の大清掃」に参加し、エコチェックDAYのPR活動や、自転車発電装置などを使用して地球温暖化対策の啓発活動を行いました。

## くずは駅前を面白くする検討会議 交通実態調査を実施 駅前のマイカー進入規制を望む声が多い

“くずは駅前を面白くする検討会議”では、10月20日(火)の7:30~8:30と10月24日(土)の15:00~16:00の2回にわたって「樟葉駅周辺の交通実態調査」を行い、マイカー滞留数とバスの遅延状況及び渋滞の実態について調べました。併せて10月20日(火)の7:30~8:30、19:00~20:00と10月24日(土)の15:00~16:00及び10月28日(水)の7:50~8:20には「樟葉駅前交通に関するアンケート調査」も行いました。

これら2つの調査から幾つかの問題点や実態が



←京阪樟葉駅前で調査



→ワークショップの様子

見えてきました。バス利用者からは、樟葉駅前南ロータリーへのマイカーの進入規制を望む声が多く寄せられていました。最終報告は次号に掲載します。

また、「IKI IKI くずは駅前ワークショップ」では、3月21日(日)、樟葉西校区コミュニティ協議会の主催で、樟葉駅前のイベントを行うことを決め、現在、調整をしながらイベント開催に向け準備を進めています。

## お知らせ コーナー



### 事務局の隣に

### 「環境・生き物展示コーナー」ができました♪



ひらかた環境ネットワーク会議事務局の隣に「環境・生き物展示コーナー」ができました。現在、枚方いきもの調査会が集めた枚方に生息している蝶や甲虫の標本をはじめ「枚方の秋の山野草」など、枚方の動植物についての展示が行われています。自由に閲覧出来ますので、ぜひ遊びに来てください。



◆展示時間：平日の午前9時～午後5時30分◆

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。

☎072・847・2286

会員数 197名：正会員 174名（個人 142、非営利団体 20、営利団体 12）

賛助会員 23名（個人 22、非営利団体 1、営利団体 0）※平成21年12月15日現在

# 団体紹介 コーナー

## 枚方LRT推進会

代表：長山 泰久

連絡先： TEL：072-846-6263（昼間） FAX：072-841-2053

### 私たちのまち枚方に新しい公共交通LRTの実現を目指して…

枚方LRT推進会は、枚方・LRT研究会として1998年6月に設立しました。

LRTの研究会、海外視察旅行をはじめ各種の行事を続け、全国的にも注目を集めてきました。2001年には、「枚方にLRTを実現するための提言」を取りまとめ、枚方市長に提起を行いました。

LRTのメリットは、①アクセスの容易さ（LRTは平面移動で接近が容易）、②位置確認が容易（どこにいるのか空間オリエンテーションが容易）、③前後左右重力が身体にかからない（動きがスムーズで快適）、④高齢者や交通弱者にやさしい交通機関、⑤地球環境問題への適用、LRTを活用したまちづくりへの貢献（“人間の尺度に合わせてまちを”を新たにデザインすることを可能にする。ヨーロッパ等では既に実現）等があげられ、会が単に研究会に終わるのではなく、一層の発展を果たし、枚方にLRTを実現するために2002年に会則・名称を改正しました。



←枚方市駅前を走るLRTイメージ図

**LRT(Light Rail Transit)とは**・・・従来の路面電車の走行環境、車両等をグレードアップさせた、人や環境にやさしく経済性に優れた公共交通システム。路面から直接乗降できる身近な公共交通機関である特性を生かして、地方中核都市において生活と一体化し、欠かすことの出来ない「都市の装置」及び「基幹的公共交通」として位置づけることができる。

#### 編集後記

新年あけまして、おめでとうございます。

今回報誌を作るにあたり、色々な方の話を聞いて、食の安全について改めて考えさせられました。

昨年春、長尾駅付近の田んぼでは、蓮華草が一面に咲き乱れていました。蓮華草は、ゴミのポイ捨てを防ぐだけでなく、有機肥料になるそうです。こうした目で見える安全性だけでなく鮮度や運送の面からも、「地産地消」が出来る仕組みがもっと整えばいいなと感じました。その為にも、小さな頃から自然と関わり、もっと人々が農業に関心を持つことが必要不可欠なのかもしれません。

（青木 記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第24号

平成22年1月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：丸井 晶子

編集責任者：廣田 武司

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。